

事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	08155-1	事業名	狭隘道路後退用地整備事業(道路橋梁一般事業)	部名	建設部
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造			室名	用地管理室
	基本施策	06:住環境の向上			財会計	一般会計
	施策の方向	02:安全・快適な住環境の整備			務款	土木費
	戦略プロジェクト				科項	道路橋梁費
				目目	道路橋梁総務費	

②目的・概要	対象	市民
	目的	市内の市道を含む公道で幅員4m未満の道路(狭あい道路)に接する敷地の建物の立て替え等の際に、道路中心線からそれぞれ2m後退した用地を市に寄附いただき、建築基準法に規定される4mの幅員まで、道路の拡張整備を促進する事業。
	概要	後退した用地の寄附をいただいた場合には、土地の分筆費用、生垣等の除却費用の一部を助成する。

			27年度	28年度	
③指標	①	名称	申請件数		
		補足	道路後退用地の助成申請等協議した件数	計画値 実績値 単位	37 件
	②	名称		計画値	
		補足		実績値 単位	
③	名称		計画値		
	補足		実績値 単位		
④	名称		計画値		
	補足		実績値 単位		

年度計画				年度実績				
④事業の計画・実績				申請件数・・・37件 実績件数・・・31件				
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	531	平均給与額×③
		事業費		10,760	10,725	一般職員人件費 ②	531	
		国庫支出金		576	576	所要人員 ③	0.07	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他				受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥	
		一般財源		10,184	10,149			
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
	総人件費		①	531				
	総コスト		⑥	11,256				

⑤事業の評価	【事業の成果】	平成21年度から着手した事業であり件数は前年度より減少したものの、制度としては定着してきた。たとえ、路線のうち一箇所だけ片側だけの道路後退が行われた場合にあっても、待避所的な役割として機能することから、家屋の連坦する市街地においては、沿道住環境の向上のみならず、円滑かつ安全な道路交通の確保、生活道路の機能向上により、良好な都市の形成に寄与するものとする。平成27年度は狭隘地解消においての地域要望があった東町地区及び阿野田門垣内地区において行政出前トークを実施し、管内町樺野地区で道路中心線協議委員会を実施した。	総合判定 A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	中心線の確定については、申請のあった箇所ごとに決定しており、徐々に成果を伸ばしてきているものの、個人中心の事業であったことから、道路線形が保たれないケースが目立った。そのようなことから、狭あい道路対策に悩んでいる地区において、当該事業を知っていただく必要があり、回覧文書等でPRする必要がある。	

⑤事業の評価	【改善の方向性】	門・塚等の支障物件除却等、本来建築主の義務であることに対する過大助成を見直し、通常の個々の建築行為に対しては、一定の助成は継続するものの、今後において、後退用地を市へ寄附させる動機を高める手法推進、いわゆる地域単位においての道路拡幅の要望に応えることが必要となる。これらのことに対応するため、亀山市狭あい道路後退用地整備要綱を改正した。(平成28年3月28日告示)	
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 用地管理室長 村山成俊